

11 認知症の進行と支援体制

～認知症の進行に合わせて本人の状態や症状、介護する方の対応ポイント、市の支援体制を紹介しています。

	気づき	軽度	中等度	重度	
認知症の進行	認知症の疑い (MCI)	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助けや介護が必要	常に介護が必要
症状や行動の例	もの忘れはあるが、買い物やお金の管理は自立している	買い物やお金の管理にミスが見られるが日常生活は自立している。	お薬の管理や電話・来客の対応が一人では難しい	着替えや食事、トイレ等が上手く出来ない。	言葉でのコミュニケーションをとることが難しい。
本人へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の役割を継続する。・趣味の活動を続ける ・体操など体を動かす・生活習慣の改善 ・地域の方にも自分の状況を知ってもらう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて、必要なサービスを利用する。 		
家族へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の役割を続けてもらい、失敗しても責めない ・見守り、不安にさせない ・本人と今後の生活や金銭管理など将来の話をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことが増え始めるので、無理強いしない。 ・必要な介護サービスを利用する。 ・本人の体調変化に気を付ける。 ・認知症の方への接し方などを学ぶ 		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた施設入所等検討する。 ・終末期をどう迎えるかを考える。
相談	もの忘れ相談センター・地域包括支援センター・介護支援専門員・医療機関・民生委員・認知症カフェ・				
医療	かかりつけ医・認知症専門医・認知症疾患医療センター				
介護予防	介護予防教室・地域いきいき塾・いきいきサロン・いきいき倶楽部			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>介護保険に関する情報は「介護保険ガイドブック」をご覧ください</p> </div>	
社会参加・仲間づくり	デカボ体操・有料温水プール活用高齢者健康づくり				
仕事・役割	趣味の集い 地域のつどい場 老人クラブ 認知症カフェ				
仕事・役割	シルバー人材センター ボランティア				
介護支援		訪問介護	通所介護	短期入所介護	小規模多機能型施設
権利を守る	福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）			成年後見制度	
家族支援	介護教室・介護者交流会				
住まい	高齢者向け住宅（有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・ケアハウス等）				
		グループホーム			
		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	